

## (2) 魚・写真図鑑

天竜川・菊川に生息する主な魚類を紹介します。

■現地調査での確認範囲:色がついている部分は、平成13・14年に天竜川、平成10年に菊川で確認されている範囲です。

### ギンブナ



#### ■解説

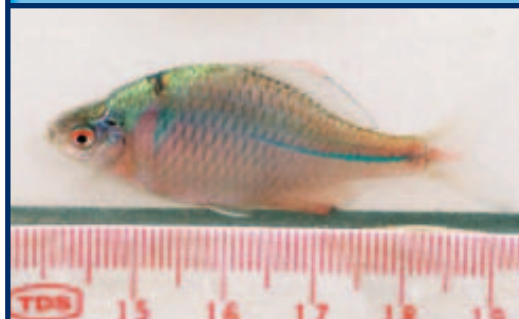
川岸の流れのゆるやかな場所や池などで見られます。他の魚の精子の刺激を受けて卵が発生する、変わった持ちようを持つことが知られています。

■体長：約25cm

#### ■現地調査での確認範囲

天竜川	下流	中流	上流
菊川	下流	中流	

### タイリクバラタナゴ



#### ■解説

もともと中国などに分布する外来魚で、観賞用にも用いられる魚です。産卵時期には、オスの体は青緑色や赤色のきれいな色になります。

■体長：約6～8cm

#### ■現地調査での確認範囲

天竜川	下流	中流	上流
菊川	下流	中流	

## 外来の魚類

魚の中には、釣りの対象や観賞用などの目的で国外から持ち込まれたり、放流される魚にまぎれて、国内の他の地域から入り込んだ魚類(外来魚)がいます。

天竜川・菊川には、タイリクバラタナゴ、ブルーギル、オオクチバス(ブラックバス)、ゲンゴロウブナ、ニゴイなどの外来魚がすんでいます。これらの中には、オオクチバスのように、在来魚のエサをうばうなど、もともと生息している水生生物への悪影響が心配されているものもいます。

